Janis

ValueClean（バリュー クリン） リフォーム仕様　施工説明書

FP292-1　10.11

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。 ●不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。 ●本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。 　お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施工される前に

●便器の使用水圧範囲は、最低必要水圧:0.05MPa（流動圧）から最高使用水圧:0.75MPa（静水圧）です。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2〜0.3MPa程度に減圧してください。
温水洗浄便座は機種により、最低必要水圧が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。

●便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は所轄官庁の指示に従って設置してください。

安全のために守ってください!

●ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 …「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …「注意しなさい!」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⊘ …「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

❗ …「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

⊘ 水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。（100V電源使用の場合）

⊘ 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。（100V電源使用の場合）

⊘ バスルーム等の水のかかる所や湿気の多い場所では、使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。

⊘ 交流100V以外では使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。

⚠注意

❗ 陶器は割れものです。破損や割れがないことをお確かめください。
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。

❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをしてください。
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

施工前の注意

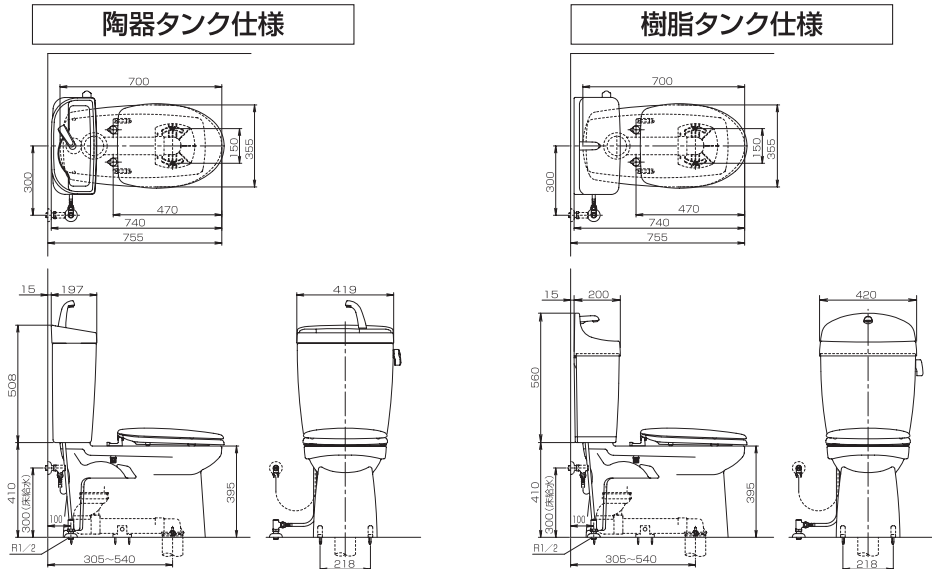
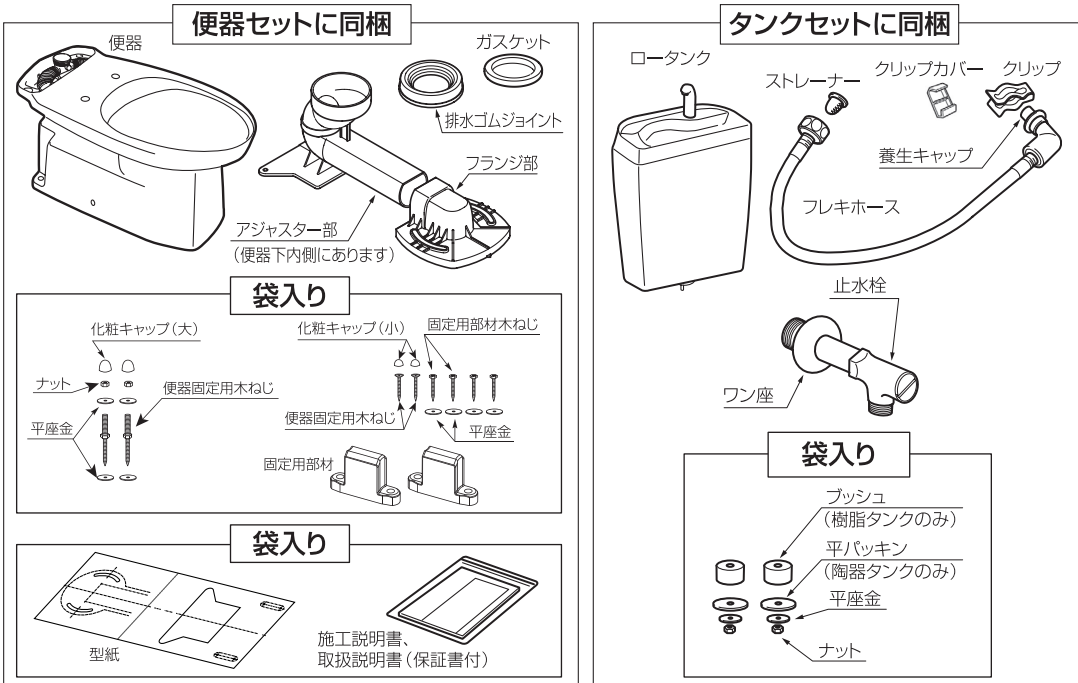
●便器、取替用止水栓、ロータンクの順序で施工を行ってください。また、施工方法は各施工説明書を参照してください。

●取替止水栓を使用する場合は施工方法が異なりますので、ご注意ください。

●アジャスター部は排水芯に合わせて切断し、塩ビ接着剤で確実に接続してください。

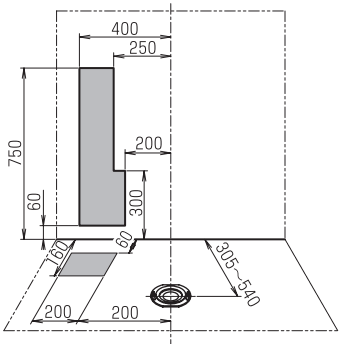
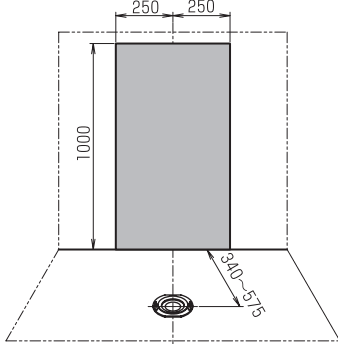
お願い

●清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

施工寸法図

部品の確認（梱包内容を確認してください）

※既設フランジのフランジボルト、フランジナット、平座金は再利用します。

給水範囲　対応できる給水範囲は下記のようになります。

壁給水の場合・床給水の場合

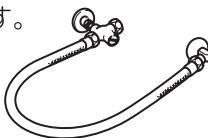
400　250　750　200　300　60　60　160　305〜540　200　200

標準の給水ホース（550mm）で施工できる範囲です。
給水位置が　　　以外の場合は、延長ホース（別途手配）が必要です。延長ホース（延長300mm）品番:P19345
止水栓は、既存の止水栓、またはタンクセットに同梱の止水栓を使用します。

注意1参照

壁給水で便器後方に隠れる場合

250　250　1000　340〜575

取替止水栓（別途手配）が必要です。
取替止水栓品番:NC79FLFA

注意1参照　注意2参照

注意1

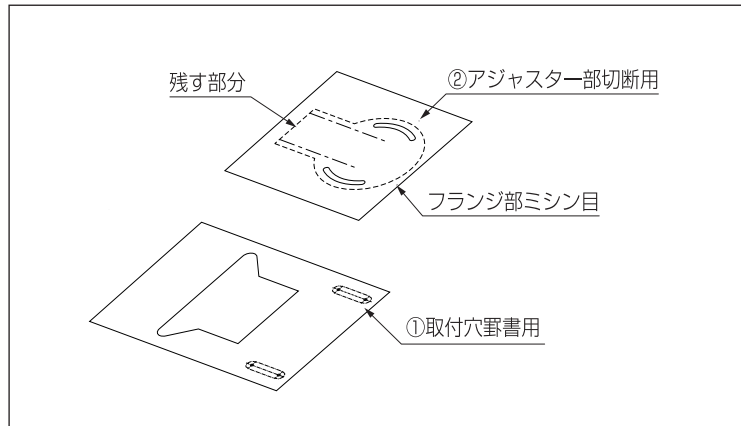
止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調節してください。

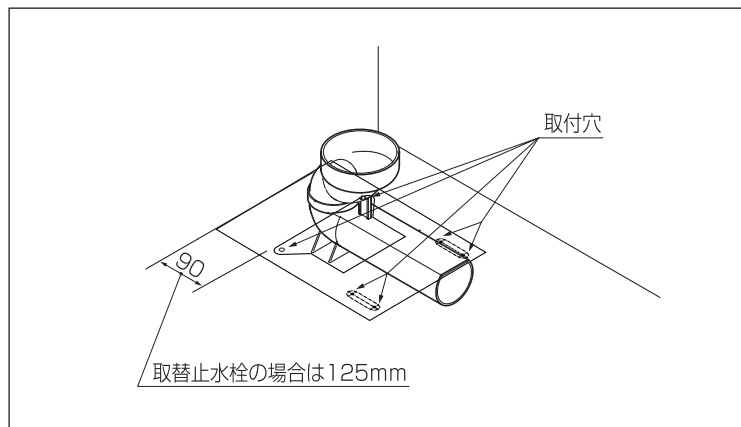
注意2

隅付ロータンクからの取替えで、横側の壁に給水口がある場合や床給水の場合は、取替用止水栓での施工はできません。施工可能な位置に給水口を取り出してください。

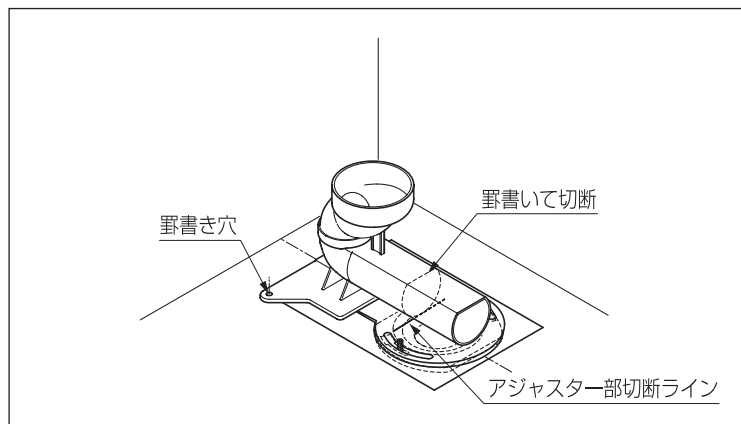
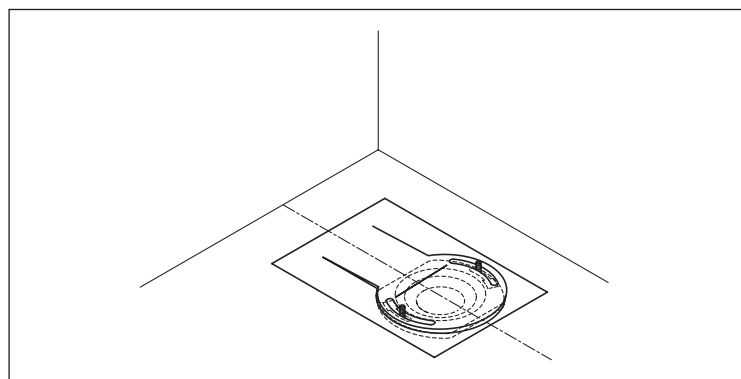
施工方法

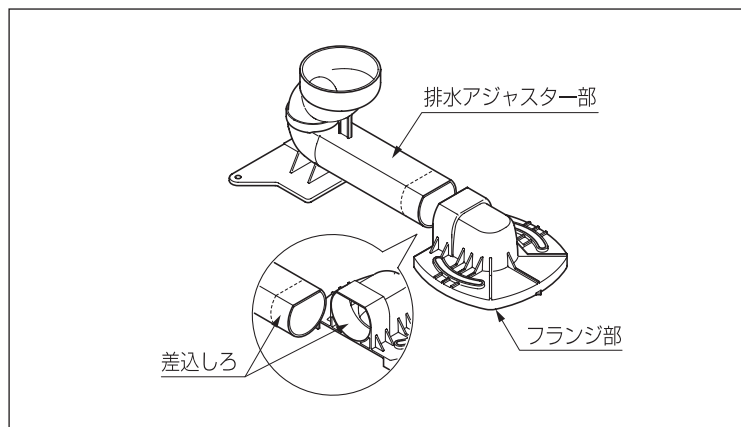
1 施工型紙の切り離し

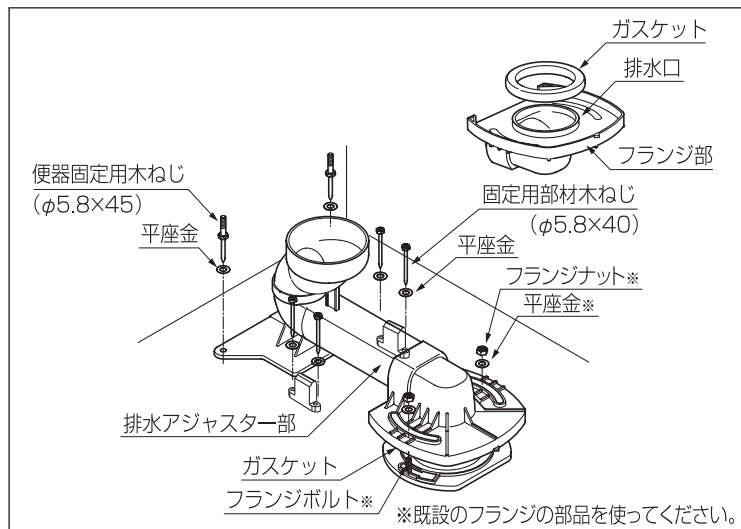
ミシン目に沿って施工型紙を切り離して①、②の2種類に分けてください。
①:取付穴罫書用
②:アジャスター部切断用
※②:アジャスター部切断用はフランジ部分のミシン目も切ってください。
※残す部分は、切らないでください。

2 排水ソケットと固定用部材の位置決め

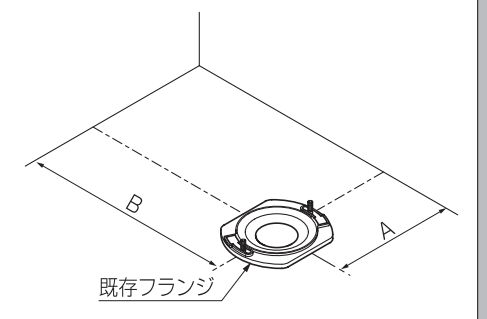
(1) ①:取付穴罫書用型紙を床に置き、壁から90mmの位置に排水アジャスター部の後端ラインを合わせて置いてください。
※取替止水栓を使用する場合は壁から125mmの位置に排水アジャスター部の後端ラインを合わせてください。(注意3参照)
(2) 排水アジャスター部取付穴と固定用部材取付穴を罫書きます。
※罫書き終わったら施工型紙を外します。

3 アジャスター部の切断

(1) ②:アジャスター部切断用型紙を既設フランジ中心に置きます。

(2) 排水アジャスター部を罫書き穴に合わせて、ずれないように置きます。
(3) アジャスター部をアジャスター部切断ラインに合わせて罫書いて切断します。
※罫書き終わったら施工型紙を外します。
(注意4参照)
※誤ってアジャスター部を長く切った場合は、便器が壁寄りに設置されるためタンクと壁が干渉して施工できない恐れがあります。(注意5参照)

4 排水アジャスター部の接着

排水アジャスター部とフランジ部の差込しろに接着剤を塗布し、各部材を接着します。(注意6参照)

5 排水アジャスター部・フランジ部・固定用部材の固定

(1) フランジ部の排水口にガスケットを付け、既存フランジに平座金とフランジナットで固定します。
(注意7参照)
(2) 排水アジャスター部を平座金と便器固定用木ねじで固定します。
●床がタイルまたはコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
(3) 固定用部材を罫書いた位置に合わせ、平座金と固定用部材木ねじで固定します。
●床がタイルまたはコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

施工前に

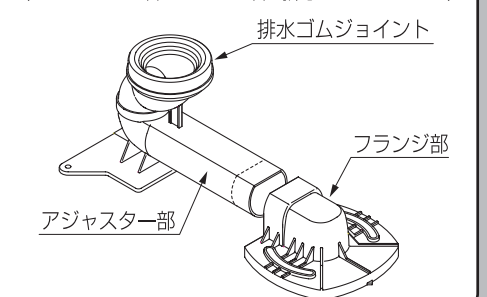
●既存フランジの芯でAおよびB寸法を墨出ししてください。

注意3

取替用止水栓を使用する場合と使用しない場合では、異なりますのでご注意ください。
※使用方法を間違えると、施工不良の原因になります。

注意4

●切断はアジャスター部に対して垂直に行ってください。
※斜めに切断すると、漏水、臭気発生の原因になります。
●切断後、アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。
※漏水する恐れがあります。
●切断後、アジャスター部とフランジ部を、再度差し込んでアジャスター部の長さを確認してください。また、このときアジャスター部に差込位置をマークし、接着時の参考にしてください。
※差込みが不十分ですと便器の取付位置がずれ、施工不良の原因になります。

注意5

アジャスター部の切断·接着を間違えた場合には、以下の品番で手配してください。
品番　MESC84-01
(アジャスター部、フランジ部、排水ゴムジョイント)

注意6

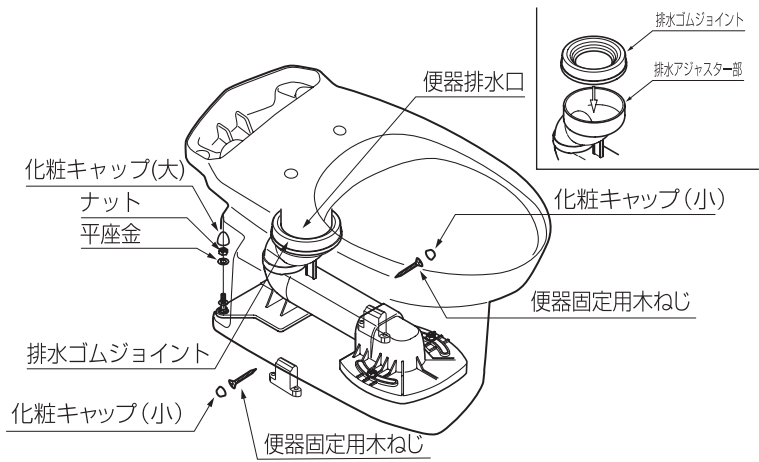
アジャスター部とフランジ部の接着は確実に行ってください。フランジ部排水口側から見てアジャスターが奥までピッタリ差し込まれていることを確認してください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

注意7

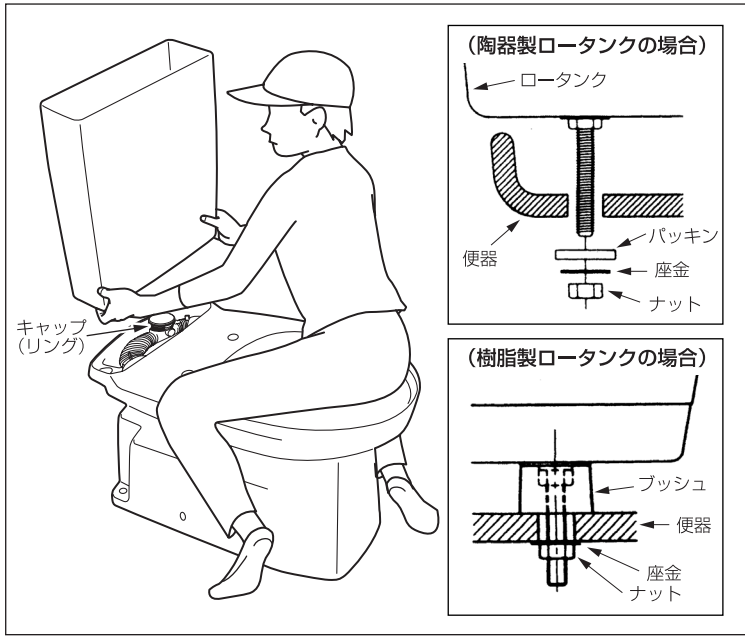
●排水アジャスター部を床へ固定する際には、床面の傾きや不陸にご注意ください。
※排水アジャスター部を逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。
●フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。
※フランジが破損し漏水の恐れがあります。

6 便器の固定

（1）排水ゴムジョイントを、排水アジャスター部にかぶせしっかり押し込みながら取付けします。
（2）便器の排水口を排水アジャスター部の排水ゴムジョイント部に差込み、ナットにて便器を固定し、化粧キャップ（大）を取り付けます。
（3）便器側面から便器固定用木ねじにより固定し、化粧キャップ（小）を取り付けます。

（注意8参照）

7 ロータンクの取付け

（便器に座って作業下さい）

（1）ディストリビュータ（黒ジャバラ）にキャップ（リング）がきちんとはまっていることを確認してください。
（2）密結ボルト2本を便器の穴に両方一度に差込んで水平におろしてください。
（3）便器下方から平パッキン、平座金を介してナットで締付けます。（注意9参照）

8 フレキホースと給水管の接続

（1）ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース（ナット側）を通します。
（2）ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
（3）付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。

【ワンポイント】
クリップはクリップカバーの差込口が上方になるようにしておくと、クリップカバーが差込み易くなります。

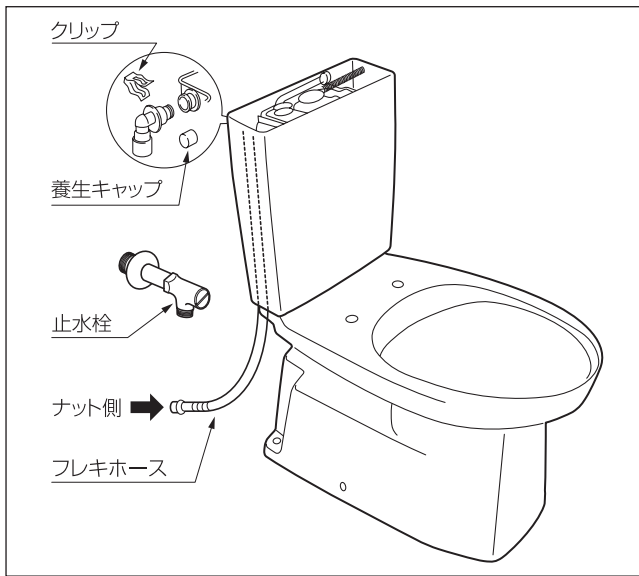
（4）クリップにクリップカバーを差込みます。
（5）給水管取出し口に止水栓を取付けます。
（6）パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。（温水洗浄便座の場合）
（7）ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。

（注意10参照）

クリップ

養生キャップ

止水栓

ナット側 ➡

フレキホース

フレキホースと接続時の注意

普通便座・暖房便座仕様の場合

壁給水

止水栓

シール材

ストレーナー

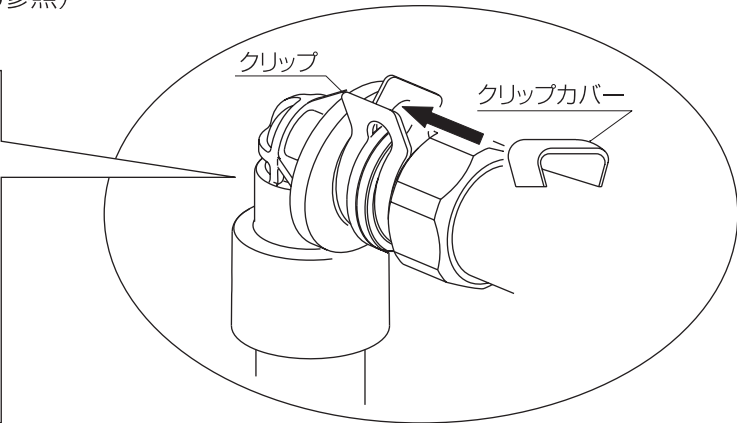
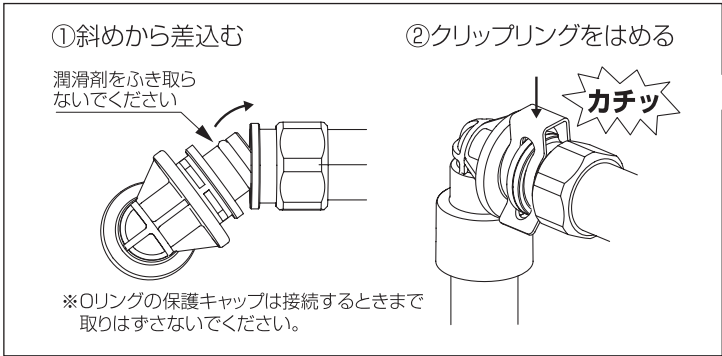
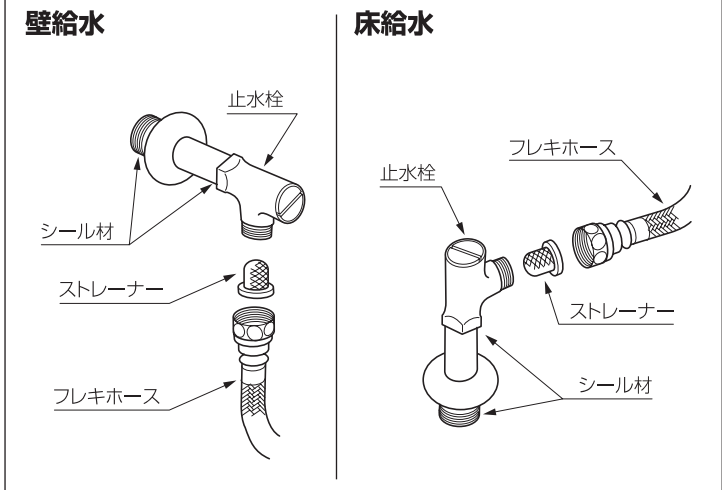
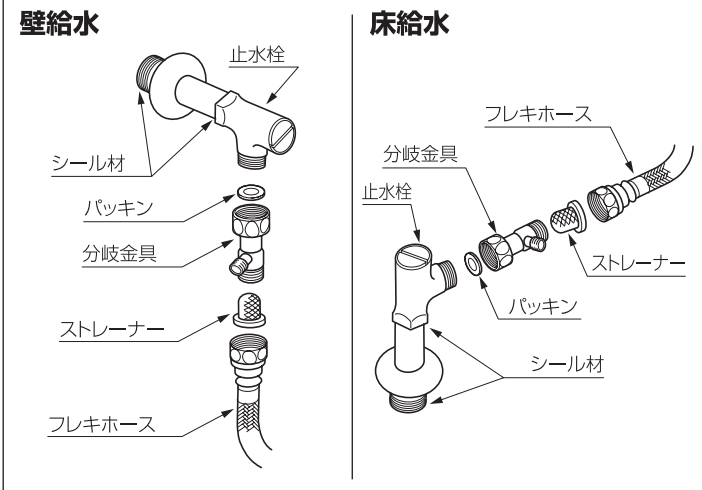
フレキホース

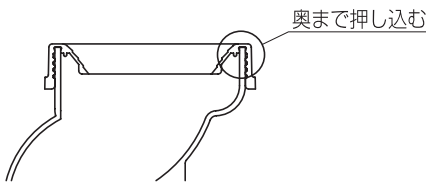
床給水

止水栓

フレキホース

ストレーナー

シール材

温水洗浄便座仕様の場合

注意8

●排水ゴムジョイントはしっかり奥まで押し込んでください。
※隙間があると洗浄不良や漏水の原因となります。

●便器の完全固定は、便器底面と床面のガタおよび施工芯を確認しながら行ってください。
●陶器に対するねじは、締め過ぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

注意9

●ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。
※片締めは破損や漏水の原因になります。

注意10

●フレキホースをボールタップへ差込む時にOリングを傷めないようにしてください。
※傷めると漏水の原因になります。
●クリップ、クリップカバー、ストレーナーは紛失しないようにしてください。
●クリップが正しく付いたかを確認するため、クリップカバーは必ず取付けてください。
●止水栓のネジ部には、シールテープ等を巻いて取付けしてください。
●ストレーナーは必ず取付けてください。
※異物が入りますと、作動不良や故障の原因になります。
●フレキホースのナットは締め過ぎないようにしてください。
※破損して漏水の原因になります。

9 調整

【流水量の調整】

●万一、ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。

（1）止水栓を閉じます。

（2）インナータンクカバーを外します。

※インナータンクカバーはコーナーを持ち上げ気味に外します。このとき、カバーの抜き窓を利用して接続ホースを通しながら着脱してください。

※接続ホースは外さないでください。

※手洗付の場合、接続ホースをタンク内に入れて水が飛ばないようにしておいてください。

（3）ボールタップのフロート部を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。この状態から

（4）水面がオーバーフロー管上端より10mm以上にならない程度に止水栓の開きを調整します。

（注意11・12・13参照）

【水位の調整】

●止水栓の開きを調整したあと、ロータンクに給水した時に、水位がオーバーフロー管に表示されたW.Lとずれている場合は次の要領で調整してください。

※工場出荷時はⅢのラインに合わせています。

※W.L表示ラインはオーバーフロー管の3ヶ所に止水位をセットできる構造になっています。

●インナータンクカバーの外し方は 9 -（2）を参照してください。

●水位がW.Lより上の場合、調整ボルトを左に、W.Lより下の場合、調整ボルトを右に回して調整します。

（注意12・13参照）

10 タンク蓋の取付け

【手洗い付きの場合】

陶器タンクの場合

接続ナットを手洗吐水管に接続し、蓋をのせます。

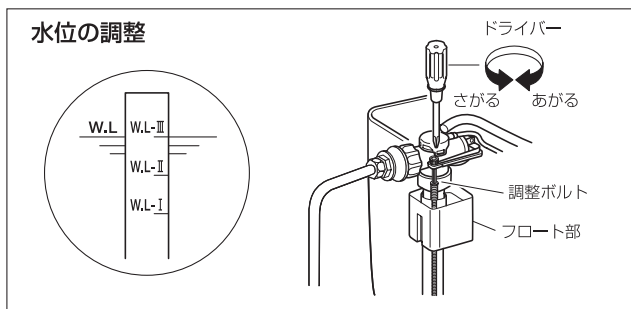
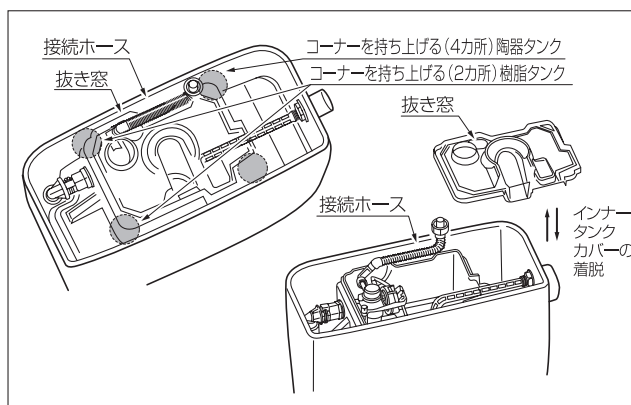
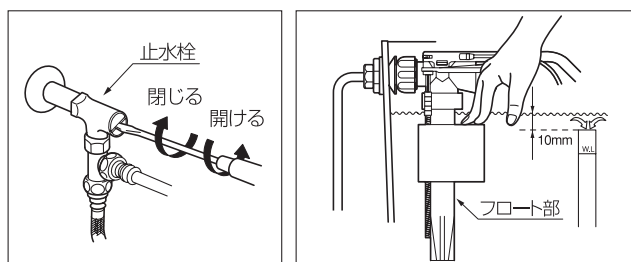
樹脂タンクの場合

ボールタップと手洗接続ホースを接続します。

（1）黒ゴムエルボの内溝と接続ホースの山が、かみ合うまで差し込む 下図注参照

（2）黒ゴムエルボの差し込み部分をホースバンドで止める。

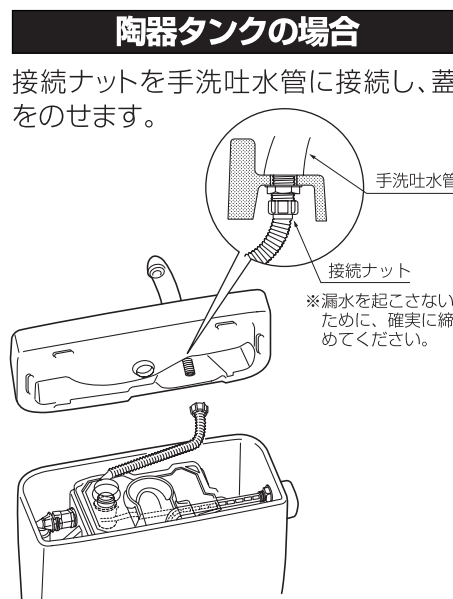
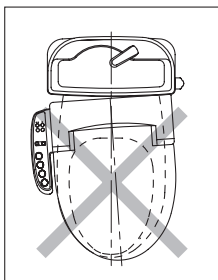
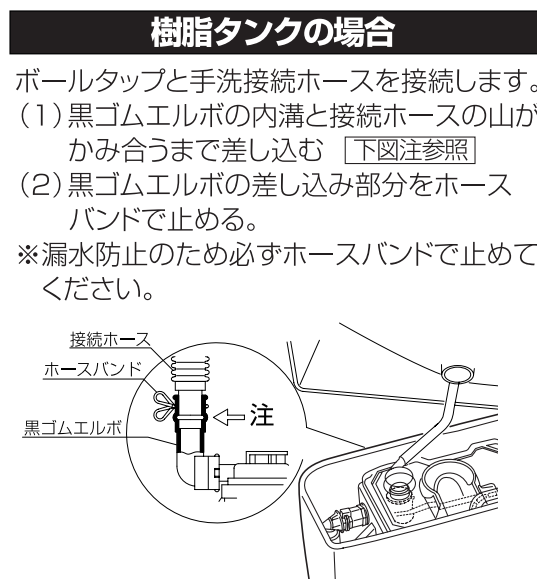
※漏水防止のため必ずホースバンドで止めてください。

お願い

●12 **確認と点検**で、水漏れ確認を行ってください。

11 便座の取付け

●便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けしてください。

●便座が横にずれた状態で取付けないでください。

※温水洗浄便座の場合、着座スイッチが利きにくくなることがあります。

12 確認と点検

●洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水が無いことを確認してください。

●フロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク金具に不具合が無いことを確認してください。

●便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗浄ですべて排出することを確認してください。

（注意14参照）

13 ワンポイント

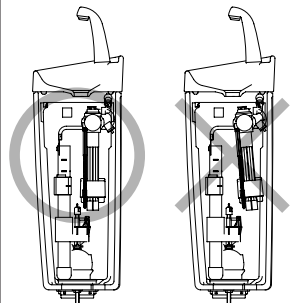
●水の出が悪い場合ストレーナーを掃除してください。（8 参照）

（注意15参照）

注意11

●接続ホースは、強く引っ張らないでください。

●調整後は元の状態に戻してください。

注意12

●ボールタップが傾いた場合は垂直に直してください。

注意13

●12 確認と点検で、水漏れ確認を行ってください。

注意14

●排水接続部の水漏れは、数回流さないと確認できない場合があります。

注意15

●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

ジャニス工業株式会社

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎〈0569〉35-3151